

クルーズサマリー

1. 航海情報

(1) 航海番号： KS-23-2

(2) 使用船舶： 新青丸

(3) 航海名称

常磐・鹿島沖陸棚上における陸起源物質の分布と輸送過程

(4) 主席研究員

伊藤 幸彦 (東京大学 大気海洋研究所)

(5) 研究代表者

S22-29 伊藤 幸彦 (東京大学 大気海洋研究所)

(6) 研究課題名

S22-29 常磐・鹿島沖陸棚上における陸起源物質の分布と輸送過程

(7) 航海期間

2023/01/14 - 2023/01/20

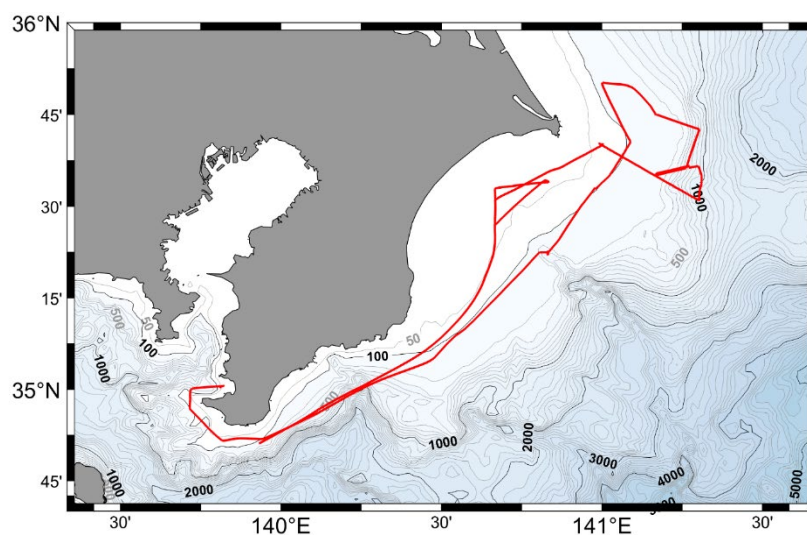
(8) 出港～帰港

横須賀港 JAMSTEC 専用 1 号棧橋 - 横須賀港 JAMSTEC 専用 1 号棧橋

(9) 調査海域

常磐・鹿島・房総沿岸

(10) 航跡図



航跡図

2. 調査概要

新青丸 KS-23-2 次航海は、利根川等の河川水、黒潮、親潮が相互作用する房総・常磐沖の海域における水塊分布の実態と混合、堆積物と水柱間の栄養塩の交換、海洋構造に対応する魚類相分布の解明を目的として計画された。

新青丸は、2023年1月14日 14:00 に横須賀港を出港した。出港時において観測海域の常磐・房総沖の海況が悪かったため、1/14 は館山湾に避泊し、翌 1/15 に観測海域に向かった。この時点で外房海域の海況は悪く、限られた時間しか観測ができないことが予想されたため、当初予定していた鹿島沖の観測線 K は割愛し、房総沖の観測に集中することとした。その後、沿岸の観測点を中心に、CTD、VMP、マルチプルコアラーを8点で実施したほか、利根川河口沖の観測線 B に沿った UCTD 観測、VMP の新型ウインチおよび TurboMAP の試験、曳航式 ADCP V-fin を実施し、1/20 10:00 に横須賀港に帰港した。